

ひきこもりっていけないことなの？

知り合いがひきこもりかも…どうしたらいい？



スタンド バイ

stand by 活動



3 すべての人に 健康と癒済を	11 住み掛けられる まちづくりを	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
--------------------	----------------------	--------------------------

実は身近な「ひきこもり」について知ろう 講座 ～地域での孤独・孤立を防ぐために～

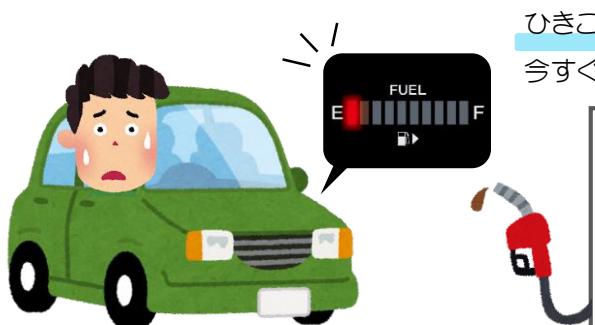
stand by (スタンドバイ) 活動とはひきこもりの状態について正しく理解し、温かく見守る地域づくりを目指す活動です。



ひきこもりは、社会的に孤立し、孤独を感じていたり、様々な生きづらさを抱えている状態の人と言われています。その人の背景や思い、状況は一人ひとり異なります。性別、年齢も様々で、誰でも起こりうることで特別なことではありません。この活動の1つ、勉強会では彼らがどんな生活をしているのか、何を感じているのか、まずは実態を知ってもらえたうるうと思います。また、周りはどう関わればいいのか、見守るとはどういうことなのか一緒に考えてみませんか。



ひきこもりってどんな状態？



ひきこもりはガソリンが入っていない車と同じ状態
今すぐ無理に動かすのは難しい！

- ・安心できる家庭
- ・わかってもらえる、批判されない環境
- ・ゆっくり休める環境
- ・自由にできる居場所

★ガソリンを充たしていきましょう

参加者の感想



ひきこもりにはマイナスの印象しかなかったのですが、気持ちを理解できてイメージが変わりました。
本人によりそって共感していくたいと思いました。



ひきこもりの勉強をする機会がなかったので良い機会になりました。
ひきこもりについて相談できる場所があるということを知れてよかったです。

参加無料

場 所

豊明市総合福祉会館 3階 会議室
(豊明市新田町吉池18-3)

日 時

1月29日（木）～2月19日（木）
1回1時間程度（詳細は裏面参照）

受付期間

参加希望日の前日まで（土日祝を除く）

定 員

1回10名程度（先着）

申込はコチラ

はばたきでできること



対象者

市内在住の自宅にひきこもりがちで、社会とのつながりが希薄な人とそのご家族など（義務教育終了後～おおむね64歳）

相談

ご本人のお気持ちを大切に、継続的な相談を行います。相談方法は来所・電話・訪問など、ご希望に沿えるよう配慮します。

居場所支援

○フリースペース・スワロー
自分らしく自由に過ごせる居場所を週1回開催中。
ゲーム、おしゃべり、スポーツ、何もしないもOK！
オンライン居場所も実施中。

○家族のつどい

ひきこもりや心の悩みを抱えたご本人（お子さん）への理解を深め、ご家族のさまざまな想いを話し合う場を、月に1回設けています。

就労支援

就労に向けての相談や就労体験も行います。また、自分に合う働き方を見つけるためのトレーニングやサポートができる支援機関におつなぎします。

問合せ・申込み 豊明市ひきこもり相談窓口 はばたき

【電話】0562-93-5051／080-6900-7941

【FAX】0562-93-3880

【メール】habataki@toyoake-syakyo.jp

〒470-1116 豊明市新田町吉池18-3 豊明市総合福祉社会館

月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）午前8時45分～午後5時00分

開催日程

1月29日（木）①10:30～11:30 ②13:30～14:30
2月 3日（火）③10:30～11:30
2月 6日（金）④13:30～14:30
2月19日（木）⑤10:30～11:30 ⑥16:00～17:00

※各回同じ内容です。ご都合のいい日時にご参加ください。

申込み用紙またはお電話、FAX、メールではばたきまでご連絡ください。

後日、こちらから申込み内容の確認、連絡をさせていただくことがあります。

※日程が合わない場合は、別日で開催も可能です。ご相談ください。



Googleフォームからも
申込みできます！

キリトリ

申込日	年 月 日
氏名	
電話番号	
希望日程	第一希望（ ） 第二希望（ ） 第三希望（ ）